

松下幸之助記念財団 研究助成
研究報告

(MS Word データ送信)

【氏名】 芝池拓臣

【所属】 (助成決定時) トロント大学政治学研究科

【研究題目】 NGO が「道徳的問題」への社会的関心に与える影響

【研究の目的】 (400字程度)

世の中には多くの「問題」がある一方で、少数の「問題」しか社会的関心を集めない。本研究は、政治学において規範や道徳の「アントレプレナー」と概念化される NGO (非政府組織) に着目し、NGO がどのようにして社会的関心に影響を及ぼすのかを明らかにする。1950年代以降、NGO の数は飛躍的に増加したが、研究の多くは Amnesty International や WWF などの大規模 NGO に集中してきた。一方で、NGO 界の大多数を占める小・中規模 NGO に関しては理論的にも実証的にも研究は希少である。本研究は、プリンシパルエージェント理論や世論研究の見識を応用し、特定の問題に特化した NGO (特化型 NGO) が社会的関心に与える影響を分析する。博士論文の研究手法としては、計量分析と定性分析の両方を用いるが、研究助成は主に定性分析に充当する。具体的には、日本や欧米の NGO から聴取調査をすることで、ウェブサイトや出版物からでは明らかでない情報を入手し、理論の予測するメカニズムが妥当であるか検証する。

【研究の内容・方法】 (800字程度)

第一段階として、特化型 NGO を特定する作業から始めた。NGO のデータは日本、米国、英国、豪国における公式の NPO (非営利活動法人) 登録簿から収集した。これらのデータには理念 (mission statement) が記載されているため、既存のデータベースよりも、より細かく NGO の問題に対する特化を観察することができる。観察可能性等の方法論的観点から野生動物保護分野に限定し、特定の動物種に特化する NGO を洗い出すことに成功した。第二段階として、いくつかの事例研究の候補を選別した。新しい「問題」と古い「問題」に着目し、それぞれの「問題」における特化型 NGO の役割や動機を明らかにするためである。野生動物保護分野における NGO 総数はそれほど多くはないので、事例とした「問題」が何であるかは研究倫理の観点から言及を避けるが、それらの「問題」に関連する NGO に連絡した。こちらからの Eメールに応じない NGO も多くあったが、いくつかの NGO から聴取調査を引き受けてもらうことができた。

聴取調査では、半構造化面接法を採用した。この手法は予め質問内容を用意しておきながらも、その内容に拘束されることなく臨機応変に調査するというものである。聴取調査は、予算の都合上、日本と米国に絞って行った。具体的には、NGO の設立理由及び社会的関心を高めるための戦略を中心に調査した。一般的に、特化型 NGO のような観衆数の少ない NGO は過激な戦略を取る傾向にあると予測されるが、実際には、アクティビズムを実施する過程で中道化していく様子が語られた。また、既存の理論は小規模 NGO を「勝ち馬に乗る (bandwagon)」ものとして概念化しているが、調査では大規模 NGO と異なるマーケットを勝ち取ろうとする、より主体的な活動を記録することができた。メディア戦略が重要な位置を占めていることも、多くの NGO によって示された。

最後に、学会やワークショップを通じて、政治学や社会学、公共政策学などの NGO 研究者からのコメントをもらい、聴取調査のデータと理論を行き来しながら理論の構築を行った。また、多くの文献を購読し、幅広く多元的な (eclectic) 理論の構築を進めた。

【結論・考察】 (400字程度)

政府の活動と異なり、NGO の活動は記録されていないことが多く、特に小・中規模 NGO の場合はその

傾向が顕著である。逸話的に特化型 NGO の活躍は散見されるものの、その理論化と実証研究は未だ体系的になされていない。それだけでも、本研究が得られたデータの意義は大きい。まず、NGO の過激性は、観衆の狭さに起因するものではないと思われる。NGO は直接的な寄付者 (donors/funders) だけでなく、一般大衆の支持にも十分な注意を払っているようだ。既存の理論は、寄付者と NGO の関係のみを明示的に扱うものが多いため、一般大衆をいかに理論の中に組み込むことができるかが課題である。また、いくつかの NGO は政府に政策提言をおこなっているが、必ずしも成功しているわけではない。政策的含意として、どのような場合に政策として受け入れられるのか、より詳しく調査する必要がある。その点に関しては、聞取調査で得たデータを用いた事例研究として博士論文で扱う。最後に、本研究で得られらコンタクトを糸口として、より多くの NGO から聞取調査を行い博士論文を完成させる。